

人形淨瑠璃系譜 人形の部

財團法人 人形淨瑠璃因協會

凡 例

義大夫節人形浄瑠璃三業人の師弟相承関係を明かにすることは、かねてよりその必要性が痛感されていたに係らず、文献的価値として信頼すべき資料に乏しいために一卷として纏められたものを産み出すに至らなかつた。本協会では後世の紛糾を怖れて今の内
に整備したい念願から、夙に資料の調査をつゞけて来た処、先ず人形の部が脱稿したので取り敢えず之を刊行し大夫の部、三味線の部の整備を俟つて三部編としたい。

三業系譜の編纂、資料の調査は因協会評議員の大西重孝氏、吉永孝雄氏に之を依嘱し、本册人形の部では吉永氏が専ら執筆に当つた。三部共伝承関係の不詳の個処が数多あるので一応未定稿として発表した上、誤記、脱落等の点を大方の御教示を得て修正したい。場合によつては三部一卷として決定版を刊行することをも考えているので、御氣附の点は左の因協会宛御通知を頂くよう期待している。

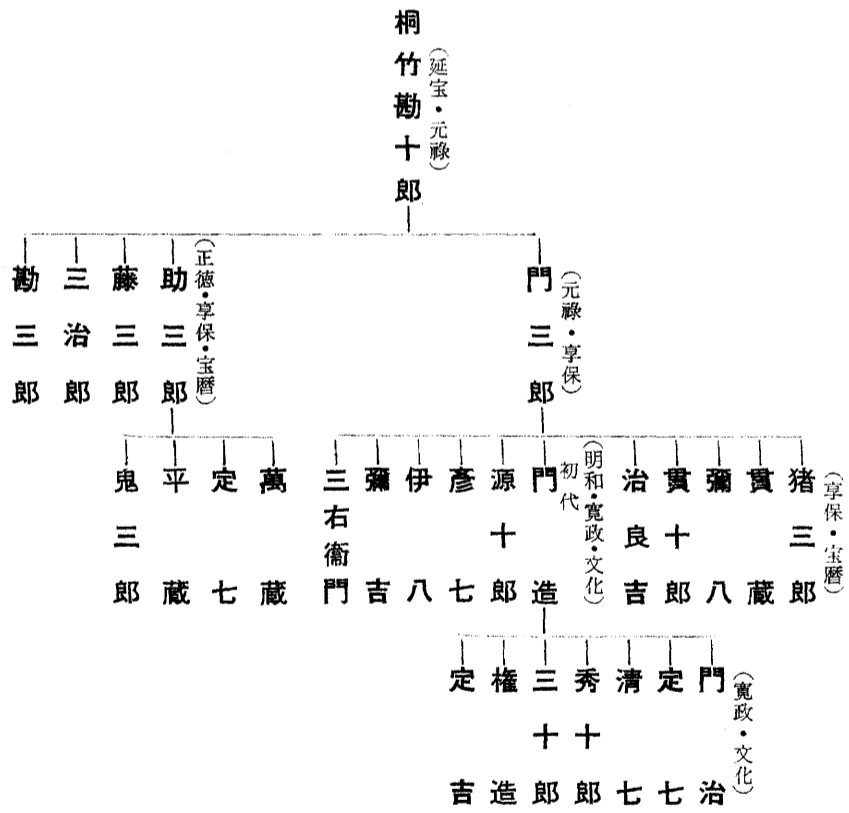
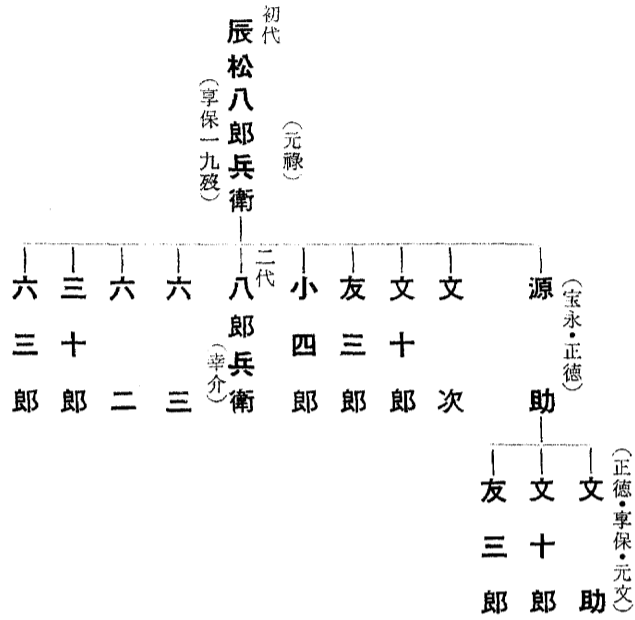
昭和三十三年六月

財団法人 人形浄瑠璃因協会

大阪市北区中之島一丁目
大阪市教育委員会 社会教育課内
市電又は地下鉄淀屋橋市庁舎四階
電話 大阪⑧八〇五一・北浜⑧五五五一

人形元祖 (慶長) 西宮百太夫
 (寛永・正保) 引田淡路掾
 上村日向掾
 江戸第一 (寛文) 傀儡師小平太
 傀儡師平太
 小山治郎
 小山三郎
 辰松八郎兵衛
 (貞享・元禄) 小山五良兵衛
 小山五良右衛門
 小山大蔵
 小山善右衛門
 (正徳・享保) 三榊平四郎
 宇治久五郎
 宇治三十郎
 宇治與八郎
 (手妻人形) 山本飛弾掾
 野呂松勘兵衛
 石井飛弾掾

〔竹本座系〕



(正徳・享保・元文頃)

山本伊平治 小平治 重治郎 甚平治 左平治

竹川七良治 市十郎 幸助 三津八郎 小四郎 扇次郎 新三郎

土佐市郎兵衛

四野宮彌八

松本彌三兵衛

住江三左衛門

山田平右衛門 善右衛門 甚右衛門

浅田助十郎 太四郎

吉田菊八 吉竹平八

北松文十郎

一の谷九十郎

田中小八郎 平次郎 重次郎 幸八郎

中村源三郎

笹田喜八
 杉田甚兵衛
 吉村伊助
 松島又三郎
 吉川龜右衛門
 村田德次郎
 太田源五郎
 龜谷市郎兵衛
 淺井茂十郎
 泉谷峯八
 藤井兵藏
 笠井茂十郎
 菊竹源八
 坂田市造

藤五郎
 藤造
 萬右衛門
 新右衛門
 源之助
 吉十郎
 半三郎
 門二
 助三郎
 八十八
 大助
 鳴八
 九郎
 右藏
 時藏

竹田貫藏
 筒井理平
 宇治重五郎
 柚竹勘十郎
 藤本新藏
 藤江新九郎
 市村久治郎
 筑竹右造
 西川門十郎
 若竹喜十郎
 柏谷平藏
 豊藤四郎
 三好元吉

才藏
 勢八
 清次郎

〔豊竹座系〕

(正徳・享保・寛政)
 藤井小三郎
 (小山)

(正徳・元文・延享)
 若竹東九郎

新十郎
 小八郎
 八十八
 文三郎
 友三郎
 伊三郎
 友五郎
 清五郎
 武十郎
 新三郎
 林三郎
 鬼三郎
 三十三郎
 八十三郎
 清治郎
 東藏
 新九郎
 菊藏
 才市郎
 喜十郎

(寛延・明和)
 小八郎
 (実弟)

小十郎
 彌八郎
 喜七
 甚藏
 彌市
 彌三郎
 (寛政・天保)

中村勘四郎
 近本九八郎
 多田文五郎
 松本喜太郎
 若江庄兵衛
 山本與兵衛
 瀬川平三郎
 藤枝勘左衛門
 弓削徳左衛門
 森川吉十郎
 重山源助
 藤江治兵衛
 土佐幸五郎
 三浦新三郎
 福島市之丞
 笠井源十郎
 柏井傳三郎
 山本清助
 淺田文右衛門
 坂東久五郎
 竹田源藏
 淺井清五郎
 泉井文五郎

(元祿・享保)
 中村勘四郎

彦三郎
 吉三郎
 源三郎
 (享保)

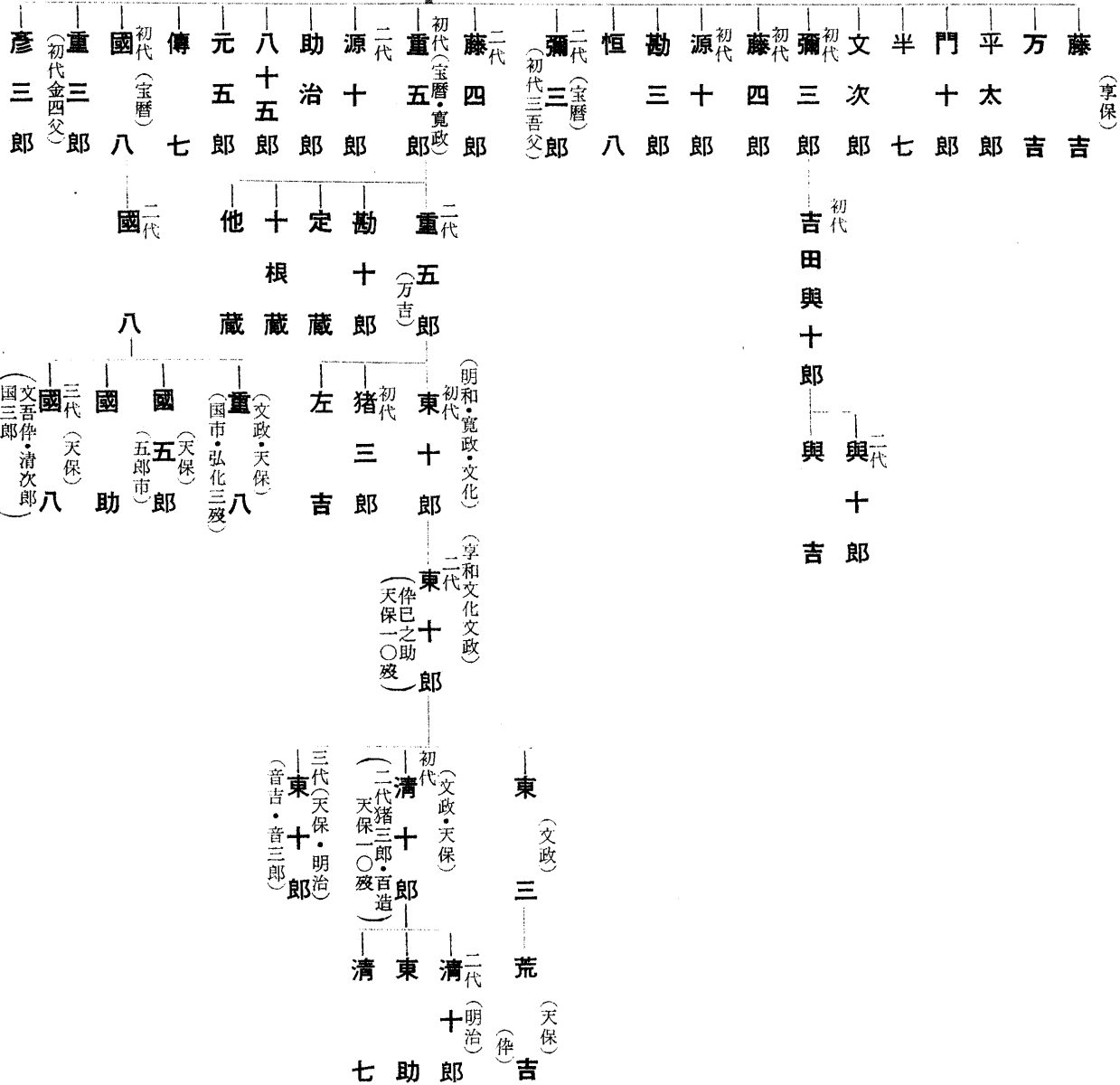
新十郎
 音五郎

忠藏
 徳治郎

萩野友治郎
平四郎

辰松文十郎
西川門十郎
芳川助五郎
泉本多五郎
此竹万三郎
理吉

豐松藤五郎
(元祿・享保)



山本飛彈掾

初代(元祿・正徳)
吉田三郎兵衛
(竹本)

初代(享保・宝曆)
吉田文三郎
(三郎兵衛伴・八之助
宝歴一〇歿)

(明和・安永・文化)
文蔵

(延享・寛延・宝曆)
二代
文三郎
(八太郎・初代文吾
寛政二歿)

(明和・安永・文化・文政)
初代
新吾
(喜代竹真吾
文政六歿)

初代(文化)
三吾
(豊松彌三郎伴
文化九歿)

二代(寛政・天保)
三吾
(三吾弟・秀五郎
嘉永四歿)

(安永・文化)
九孝源
(音五郎)

二代(文化・文政・天保)
新吾
(初代伴・卯之吉
新二・新治
安永二歿)

(文政・天保)
三左衛門

豊松
傳七
(清七・勝造
傳七弟・松助・清五郎)

東造

喜十郎
(季十郎
明治一三歿)

新十郎
(二代三吾伴)

三蔵

大五郎
(文政
八十郎伴)

(文政・天保・安政)
三代
新吾
(卯之吉・初代新五郎
二代重五郎)

二代(文政)
吉川才治
(田吉・四代新治
馬十・吉田一喬)

(天保・弘化・明治)
才治
(四代(吉田)
小倉大四郎
二代虎造・初代才吉
明治二五歿)

新三郎

新枝郎

(天保)
三信

勝七

喜市

新五郎
(新三)

吉川才治

辰三郎
(明治)

辰二郎

辰十郎

辰五郎
(昭和二歿)

辰次郎

辰四郎

才吉

才子

才治

才寅

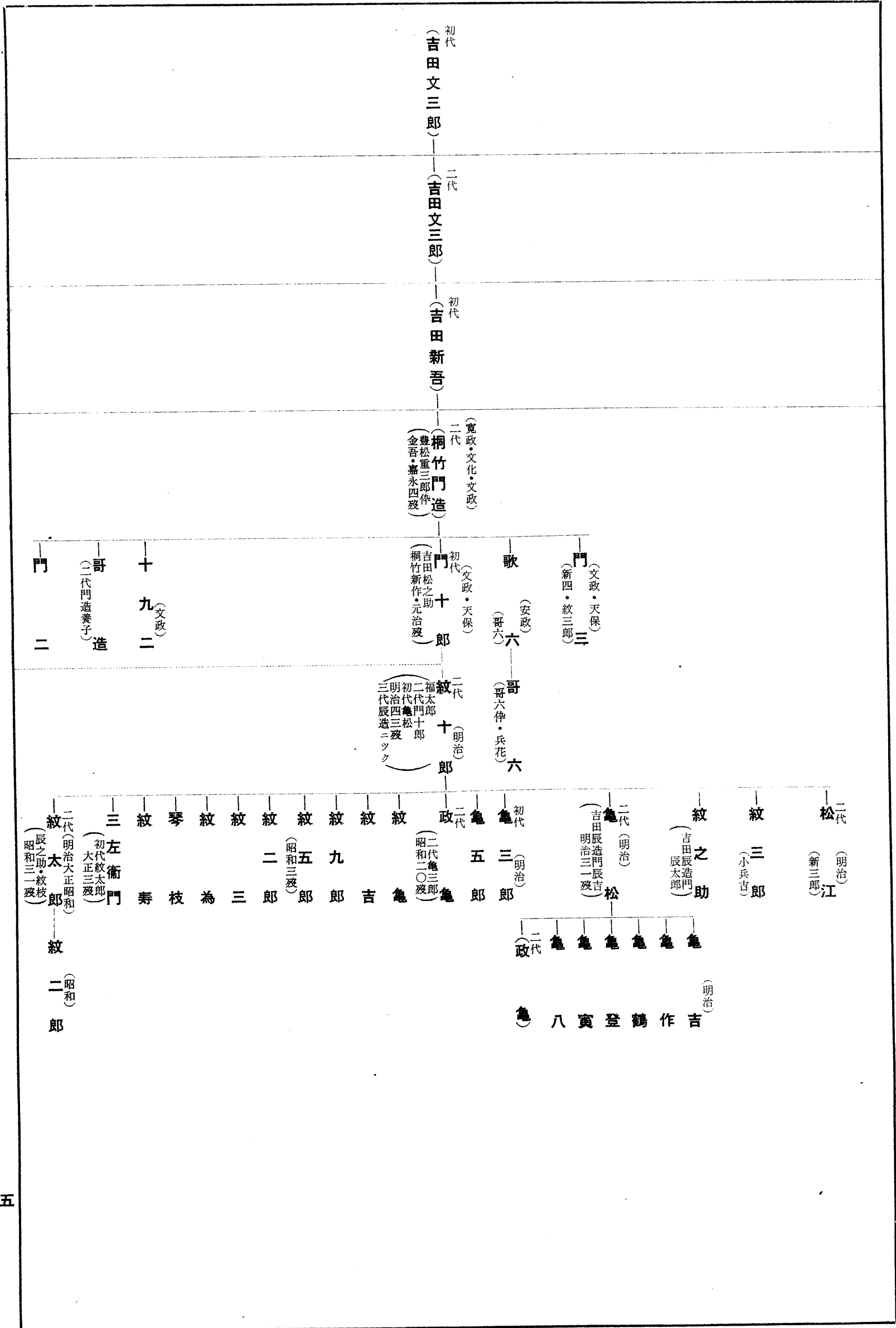
才寅

才寅

才寅

才寅

才寅



初代 (吉田文三郎) — 二代 (吉田文三郎) — 初代 (吉田新吾)

文 藏

三代 (安永・寛政・文化・文政) 文三郎
初代 (文政一・二・三・四) 千四郎
二代 (寛政・文化・文政・嘉永) 千四郎
三代 (安政・文政) 千四郎

初代 (文化・文政・天保) 朝右衛門
初代 (天保) 朝右衛門
初代 (天保) 朝右衛門

初代 (文化・弘化) 金四郎
初代 (文化・弘化) 金四郎
初代 (文化・弘化) 金四郎

二代 (天保) 仙助
二代 (天保) 仙助
二代 (天保) 仙助

三代 (安政・方延) 兵吉
二代 (天保) 兵吉
二代 (天保) 兵吉

二代 (文政) 朝三
初代 (天保) 朝三
初代 (天保) 朝三

三代 (天保) 朝三
初代 (天保) 朝三
初代 (天保) 朝三

三代 (天保) 門造
初代 (天保) 門造
初代 (天保) 門造

三代 (天保・安政・明治) 金四
初代 (天保) 金四
初代 (天保) 金四

初代 (天保) 竹吉
初代 (天保) 竹吉
初代 (天保) 竹吉

初代 (文政) 金三
初代 (文政) 金三
初代 (文政) 金三

兵助
兵助
兵助

兵吉
兵吉
兵吉

千柳
千柳
千柳

兵花
兵花
兵花

花兄
花兄
花兄

多藏
多藏
多藏

鹿造
鹿造
鹿造

多三郎
多三郎
多三郎

小光
小光
小光

光梅
光梅
光梅

小鶴
小鶴
小鶴

兵吉
兵吉
兵吉

兵吉
兵吉
兵吉

兵吉
兵吉
兵吉

兵吉
兵吉
兵吉

兵吉
兵吉
兵吉

兵吉
兵吉
兵吉

光富
光富
光富

光梅
光梅
光梅

光鶴
光鶴
光鶴

光三
光三
光三

兵次
兵次
兵次

兵松
兵松
兵松

兵玉
兵玉
兵玉

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵次
兵次
兵次

兵松
兵松
兵松

兵玉
兵玉
兵玉

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵次
兵次
兵次

兵松
兵松
兵松

兵玉
兵玉
兵玉

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

兵三
兵三
兵三

初代
(吉田文三郎)

二代
(吉田文三郎)

三代
(吉田文三郎)

四代
(文政・天保)

五代
(天保・安政)

初代
(明治)

初代
(昭和)

二代
(千)

四
(安政)

三代
(明治・大正・昭和)

三代
(文)
菊竹右藏・初代吉田右藏・三代三郎兵衛文政一〇歿

四代
(文)
二代右造・三代国八三代門造父天保末歿

初代
(天明・寛政)
辰五郎

初代
(天保)
玉十郎

初代
(天保)
玉十郎

初代
(天保)
玉十郎

初代
(天保)
玉十郎

初代
(天保)
玉十郎

初代
(天保)
玉十郎

(初代) 吉田文三郎

(二代) 吉田文三郎

(二代) 吉田辰五郎

(徳)

(造)

(初代) 玉

(造)

(初代) 玉 (元治・明治)
(明治一九) 玉造伴 助

玉 (初代) 二九
玉 郎 郎
松

(三代) 玉 (明治・大正)
大正一代玉蔵
二代玉市
三代玉松

(二代) 玉 (明治)
源吉・玉七
明治四〇 助 造

(明治・大正・昭和)
文五郎 (初代 養助)
巳之助 三代 難波 昭和三三

(三代) 紋十郎 (小文・文昇・養助)

(三代) 玉市 (富十郎)

(二代) 玉助 (玉小・玉幸)

(明治・大正・昭和) 玉子

玉江

(五代) 辰五郎 (玉徳)

(三代) 玉造 (三代玉松・林蔵 昭和二三)

(四代) 玉米 (昭和一九)

(二代) 玉昇

(明治・大正・昭和) 玉治郎 (昭和一七)

玉寿郎

源之助

(大正・昭和) 紋司 (小文・後文五郎 入門玉五郎トナル)
勸十郎 (紋昇)
小紋
二代 紋之助
紋四郎
紋二郎 (二代紋太郎伴・小辰)
紋彌 (四代玉蔵伴・玉一郎)
紋次

玉作十郎 (昭和) (玉枝)
玉之助
玉幸

玉市 (玉米トナル) (後玉市ニ入門)
玉昇
玉太郎 (昭和)
玉市

玉八 (昭和)
玉男

常次 (昭和)
玉米 (後紋十郎弟子 紋弥)

(昭和) 丸

初代
(吉田文三郎)

二代
(吉田文三郎)

二代
(吉田辰五郎)

(德)

造

初代
(玉)

造

二代 (文政・天保・弘化)
(辰)
二代 (辰五郎倅)
(福次郎・嘉永歿)

三代 (幕末・明治)
(辰)
造

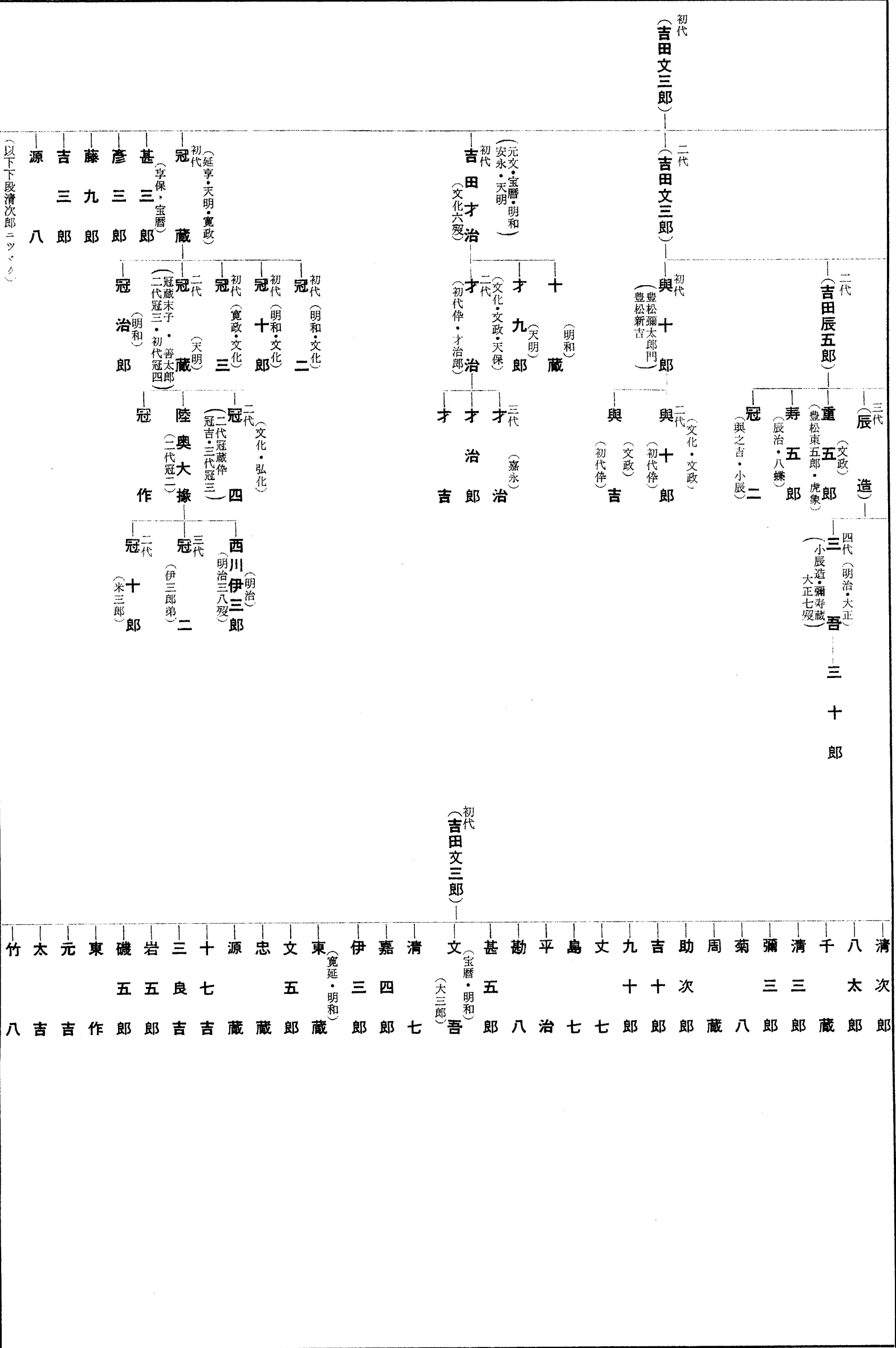
辰 (二代龜松ニナル) 吉
辰 之 助
富 三 郎
辰 太 郎
(紋之助ニナル)

初代 (明治)
(玉) 治
(毛下辰造門・辰之助)
(明治三四歿)
玉 龜
玉 壽
玉 米
(初代)
(明治三二歿)
玉 珊
玉 笑
玉 勢 郎
玉 太 郎
小 玉 造 松
玉 朝
(辰枝)
玉 榮

初代 (明治・大正)
(文)
三
(幸三郎・二代玉治)
(昭和二歿)

初代 (大正・昭和)
(文)
松
(文作)
小 龜
(大正・昭和)
(小文・紋司)
小 辰
(後紋十郎ニ入門)
(紋二郎下改名)

文 之 助
文 之 助
文 雀
文 昇
文 之 助
小 玉
小 玉
一 助 暢
龜 之 助
玉



昭和三十三年六月十五日発行

編集者 発行者

大阪市教育委員会社会教育課内

財団法人 人形淨瑠璃因協會

大阪市都島区野田町四三

印刷所

株式会社 天業社印刷所